

別冊 2

第六次中期 3 年計画書(案)

(令和 8 年度～令和 10 年度)

青森県農業信用基金協会

目 次

1. 現状と課題	1
2. 基本方針	2
3. 計画期間	2
4. 重点実施事項	2
※ 数値計画 (事業計画)	4
(損益計画)	5
(財務計画)	6

1. 現状と課題

農業を取り巻く環境は、農業人口の減少、高齢化による担い手不足等といった構造的な課題に加え、国際情勢の不安定化による生産資材価格の高止まりや気候変動による自然災害の多発など多くの課題に直面しております。

系統信用事業については、「JAバンク青森中期戦略（2025～2027年度）」において「つながり強化戦略」を掲げ、「農業」、「暮らし」、「地域」の各領域で組合員・利用者の目線に立ったサービスの提供に取り組んでいます。

農業信用保証保険制度にあっては、農業融資活性化のため、担い手に対する資金供給の更なる円滑化及び銀行等その他機関との連携強化が求められています。

当協会は、経営基盤の強化・健全性の確保を計画的に進めるため、平成23年度から令和7年度まで5度の中期3か年計画を設定し実践してまいりました。

令和5年度から7年度までの第五次中期3か年計画期間中の実績については、債務保証は、引受額が259億56百万円と計画を4億56百万円上回ったことから、保証実残高は445億67百万円と計画を3億68百万円上回るとともに、計画期間中においても9億85百万円の増加となりました。また、求償権は、代位弁済が1億9百万円と計画を1億10百万円下回り、回収が1億88百万円と計画を1億5百万円上回ったことから、残高は2億91百万円と計画を2億47百万円下回るとともに、計画期間中においても1億60百万円の減少となりました。

これら事業の結果により、事業収支は、求償権利息の回収促進、財務収益の改善並びに求償権残高の圧縮による諸引当金の戻入により計画期間中の全期間において収支均衡を実現し、当期利益金は、計画を32百万円上回る36百万円となりました。

当協会の課題は、保証残高の積み上げ、資産の効率的運用による安定した事業収入の確保、諸費用の節減による収支の均衡であり、そのための継続的な取組みが必要となっています。

当協会を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、県内系統唯一の公的保証機関としてJA並びに農業者等の負託に応えていくためには、経営基盤の強化・健全性の確保を計画的に進めていかなければなりません。

このため、令和8年度を初年度とする第六次中期3か年計画を設定し、会員各位並びに関係機関のご理解とご支援を賜り、収支均衡、基金増強といった経営の健全化に取り組んでまいります。

2. 基本方針

農業者等に対する貸付についてその債務を保証し、もって農業の生産性の向上を図り、農業経営の改善に資するという、当協会の社会的責任を全うするため、保証引受機能の強化、代位弁済の未然防止及び求償権の回収強化、経営基盤の強化を図り、信用事業の補完的機能を発揮してまいります。

3. 計画期間

令和8年度～令和10年度

4. 重点実施事項

(1) 保証引受機能の強化

融資機関や行政等関係機関との連携により、農業者及び融資機関の保証ニーズを的確に把握し保証機能を充実させます。また、適正な保証審査により健全な保証実残高の維持・増加を図ってまいります。

＜具体的実施事項＞

- ① J Aバンク及びJ A役職員と各種情報を共有し、保証機能の充実並びに保証依存率の維持、向上に取り組みます。
- ② 貸出システムと連携した保証審査システムを効率的に運用し、迅速な保証審査に取り組みます。
- ③ 経営規模の拡大及び経営の効率化に向けた資金並びに災害資金等の多様な保証ニーズに積極的に取り組みます。
- ④ 銀行、信金、県信用保証協会等と連携し、銀行等の農業資金の需要を把握し、農業者等の債務保証の利用の普及、推進に取り組みます。
- ⑤ 指導班会議、実績検討会に参加し、農業者等の経営の改善、発展に向けた支援、指導に取り組みます。
- ⑥ 大口保証先の実績把握に取り組みます。
- ⑦ 農業資金は、(独)農林漁業信用基金の保険料率の見直しに合わせ、農業者等の財務状況等に応じた段階別保証料率の導入に取り組みます。
- ⑧ 住宅ローンは、他保証機関との競合強化を図るため、保証料率の見直しを検討するほか、J Aバンクと協調し融資要項等の見直しにも取り組みます。
- ⑨ 融資機関担当者向けの研修会開催に取り組みます。
- ⑩ ホームページ等を活用した広報活動により、保証保険制度の周知に取り組みます。

(2) 代位弁済の未然防止及び求償権回収の強化

融資機関との連携、期中管理の強化により代位弁済の未然防止に努めます。また、求償先ごとに決定した回収方針に基づき入金管理を徹底するとともに、償却も適時・適切に行ってまいります。

＜具体的実施事項＞

- ① 保証先との面談、指導班会議及び実績検討会への参加により、保証債務の期中管理に努め、代位弁済の未然防止に取り組みます。
- ② 融資機関を交えた保証先との事前面談により保証先の実態を把握し、適時、適切な代位弁済に取り組みます。
- ③ 求償先との面談、協議により回収方針を決定し、入金管理の徹底と回収の強化に取り組みます。
- ④ 弁済請求に応じない求償先に対しては法的措置を講じ、県外居住者及び償却先についてはサービサーによる回収に取り組みます。
- ⑤ 融資機関担当者向けの研修会開催に取り組みます。
- ⑥ 償却基準に該当する求償権を償却し、財務の健全化に取り組みます。

(3) 経営基盤の強化

健全性の確保・維持に努めるとともに、資産運用の効率化、経費支出の管理徹底等により安定した収益と単年度の黒字確保を図ってまいります。また、内部牽制機能の発揮、コンプライアンスの遵守、個人情報保護への対応を強化し、不祥事の防止措置と事務の堅確性の向上を図ってまいります。

＜具体的実施事項＞

- ① 自主基準の設定、評価並びに経営点検により、経営の健全性の確保に取り組みます。
- ② 基金の増強、諸引当金の適正な繰入、不健全債権の償却により財務の健全化に取り組みます。
- ③ 資産運用は預金・有価証券運用委員会が決定した運用方針等にしがたい、定期預貯金の満期分散と有価証券による運用に取り組みます。
- ④ リスクに応じた保証料率の見直し、経費支出の管理徹底等により収支の均衡を図り、単年度の黒字確保に取り組みます。
- ⑤ コンプライアンス・プログラムの策定と実践により、コンプライアンスの遵守に取り組みます。
- ⑥ 公認会計士監査、監事監査並びに内部点検により、内部牽制機能の発揮に取り組みます。
- ⑦ 業務の質・量に応じた効率的な業務運営体制の構築に取り組みます。
- ⑧ 不祥事への対応、反社会的勢力への対応、苦情への対応を適切に行うため、コンプライアンスマニュアルの遵守に取り組みます。
- ⑨ 人材の確保及び育成に取り組みます。

(事業計画)

(金額単位：百万円)

区 分		7年度実績	8年度	9年度	10年度
債 務 保 証	1. 引受額	9,183	8,700	8,850	9,000
	近代化資金	1,181	1,100	1,100	1,100
	一般資金	8,001	7,600	7,750	7,900
	2. 残高	45,269	45,619	45,969	46,319
	近代化資金	3,307	3,617	3,945	4,287
	旧農業改良資金及び旧就農支援資金	0	-	-	-
	一般資金	41,962	42,002	42,024	42,032
	3. 実残高	44,567	44,917	45,267	45,617
	近代化資金	3,307	3,617	3,945	4,287
	旧農業改良資金及び旧就農支援資金	0	-	-	-
	一般資金	41,259	41,300	41,322	41,329
	求 償 権	1. 代位弁済	33	80	80
近代化資金		-	-	-	-
一般資金		33	80	80	70
2. 回収金		84	14	11	11
近代化資金		0	0	-	-
一般資金		83	13	11	11
3. 償却額		50	40	55	37
近代化資金		-	-	-	-
一般資金		50	40	55	37
4. 残高		291	317	331	353
近代化資金		0	-	-	-
一般資金		291	317	331	353
基 金	1. 造成額	9	5	7	6
	出資金	6	3	6	4
	交付金	3	1	1	1
	繰入金	-	-	-	-
	2. 残高	3,503	3,509	3,516	3,523
	出資金	2,325	2,329	2,336	2,340
	交付金	448	450	451	453
	繰入金	729	729	729	729

(注) 1 金額は千円未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。

2 金額が0円の場合は「-」、単位未満(マイナス含む)のものは「0」と表示しています。

3 基金のうち、出資金には、独立行政法人農林漁業信用基金へ出資するために青森県から出資された特別出資金7,720千円を含んでいません。

(損益計画)

(金額単位：千円)

区		分	7年度実績	8年度	9年度	10年度	
収 益 の 部	事業 収入	1. 保証料	132,963	133,000	134,000	136,000	
		2. 求償権利息及び貸付金利息	20,817	6,000	5,500	5,000	
		小 計	153,780	139,000	139,500	141,000	
	そ の 他 収 益	1. 保険金	22,572	48,350	52,180	23,100	
		2. 交付金	3,933	1,800	1,100	1,800	
		3. 利子補給金	137	132	132	132	
		4. 受取助成金	11,385	9,000	9,000	9,000	
		5. 雑収益	29	20	20	20	
		小 計	38,059	59,302	62,432	34,052	
	財 務 収 益	1. 受取利息	5,716	7,888	8,732	7,933	
		2. 有価証券利息	29,781	39,694	41,716	43,667	
		3. その他の財務収益	-	-	-	-	
		小 計	35,497	47,582	50,449	51,600	
	特 別 利 益	1. 償却債権取立益	3,753	-	-	-	
		小 計	3,753	-	-	-	
	収 益 合 計			231,090	245,884	252,381	226,652
	費 用 の 部	事業 費用	1. 事業直接費	6,947	10,050	10,550	11,550
			2. 事業管理費	89,477	108,430	111,790	115,720
			小 計	96,425	118,480	122,340	127,270
そ の 他 の 用 費		1. 保険料	33,790	35,500	35,500	35,500	
		2. 再保証料	7,054	8,000	8,000	8,000	
		3. 保険納付金	69,181	10,528	8,363	8,026	
		4. 保険金等返還金	1,683	1,901	1,787	1,569	
		5. 再保証納付金	2,009	680	658	661	
		6. 支払準備金繰入・戻入 (△)	△ 65,941	14,585	8,819	△ 7,806	
		7. 保証責任準備金繰入・戻入 (△)	2,949	3,749	3,292	2,780	
		8. 求償権償却引当金繰入・戻入 (△)	△ 4,654	3,710	1,843	8,710	
		9. 債務保証損失引当金繰入・戻入 (△)	2,591	△ 803	2,143	2,821	
		10. 特別準備金及び特別支援金繰入・戻入 (△)	1,496	1,400	600	600	
		11. 求償権償却費	50,537	39,000	54,750	37,000	
		12. 貸倒引当金繰入・戻入 (△)	-	-	-	-	
		13. 特定引当金繰入・戻入 (△)	-	-	-	-	
小 計		100,698	118,251	125,757	97,862		
財 務 費 用		1. 支払利息	389	476	500	500	
		小 計	389	476	500	500	
特 別 損 失		小 計	-	-	-	-	
費 用 合 計			197,513	237,207	248,597	225,632	
当 期 利 益 金			33,577	8,677	3,784	1,020	

(注) 1 金額は千円未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。
2 金額が0円の場合は「-」、1円以上単位未満のものは「0」と表示しています。

(財務計画)

(金額単位：百万円)

区 分		7年度実績	8年度	9年度	10年度	
資 産 の 部	流 動 資 産	1. 現金及び預金	2,705	2,095	1,908	1,723
		2. 前払費用	0	0	0	0
		3. 未収収益	25	25	25	25
		4. その他流動資産	5	6	8	8
		小 計	2,737	2,126	1,941	1,757
	固 定 資 産	1. 有形固定資産	4	3	2	1
		2. 無形固定資産	1	1	-	-
		3. 投資有価証券	3,100	3,421	3,630	3,838
		4. 外部出資金	99	99	99	99
		5. 求償権	291	317	331	353
6. 求償権償却引当金		△ 47	△ 51	△ 53	△ 61	
7. その他資産		5	5	5	5	
小 計	3,455	3,796	4,016	4,236		
保 証 債 務 見 返		44,567	44,917	45,267	45,617	
資 産 合 計		50,760	50,840	51,225	51,611	
負 債 ・ 資 本 の 部	流 動 負 債	1. 短期借入金	535	108	203	108
		2. 前受収益	771	790	799	809
		3. 未払費用	3	4	4	4
		4. 賞与引当金	2	3	3	4
		5. その他流動負債	5	2	1	1
		小 計	1,317	908	1,012	927
	固 定 負 債	1. 長期借入金	108	203	108	203
		2. 支払準備金	656	672	682	676
		3. 保証責任準備金	178	182	185	188
		4. 債務保証損失引当金	75	74	76	79
		5. 退職給付引当金	33	41	45	50
		6. 特定引当金	-	-	-	-
		7. 特別準備金・特別支援金	53	55	55	56
		8. 求償債務	27	29	30	47
		9. その他固定負債	7	6	1	-
	小 計	1,139	1,265	1,186	1,301	
	保 証 債 務		44,567	44,917	45,267	45,617
	負 債 合 計		47,024	47,091	47,465	47,846
	資 本	1. 出資金	2,333	2,337	2,343	2,348
		2. 繰入金	729	729	729	729
3. 準備金		640	674	682	686	
4. 当期利益金		33	8	3	1	
資 本 合 計		3,736	3,749	3,759	3,764	
負 債 ・ 資 本 合 計		50,760	50,840	51,225	51,611	

(注) 1 金額は千円未満を切り捨てて表示しており、合計に不突合があります。
2 金額が0円のもの「-」、1円以上単位未満のもの「0」と表示しています。